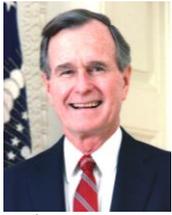


第 193 回 現代のアメリカ合衆国



ブッシュ(父)
第 41 代大統領。
ブロッコリーが大嫌いで、「ブロッコリーと戦う！」と宣言したら、大量に送りつけられた。

1 現代のアメリカ合衆国

- ◆ () (共和党) (在任 1989~1993 年)
 - 1989 年、ソ連の () 書記長と () を行った。
→冷戦の終結が宣言された。
 - 1990 年、イラクのサダム=フセイン大統領が () に侵攻した。
→これに対し 1991 年、アメリカを中心とした () がイラクを攻撃して () となり、多国籍軍が勝利した。
 - 1992 年、カナダやメキシコと () に調印した。



クリントン
女癖が悪く、在任中に浮気がばれた。

- ◆ () (民主党) (在任 1993~2001 年)
 - アメリカ経済の中心を金融や情報技術 () にうつし、巨額の財政赤字の解消に成功するなど、内政面では高い成果を出した。
 - ソマリア内戦への関与が失敗に終わるなど、外交面では成果がなかった。



ブッシュ(子)
第 43 代大統領。
イラク戦争の混迷で、人気を失った。趣味はサインボール集め。

- ◆ () (共和党) (在任 2001~2009 年)
 - 2001 年 9 月 11 日、アメリカで () が起こる。
→アメリカは、国際テロ組織 () の () を首謀者と考えた。
→彼をかくまったイスラーム原理主義組織 () 政権を攻撃するため、「対テロ戦争」を宣言して () へ侵攻した。
※この頃から、アメリカの単独行動主義が目立つようになる。
 - 2002 年、パレスチナ問題では、平和共存のためのロードマップを発表した。
→しかしイスラエルのシャロン首相の強硬姿勢もあり、困難な状況である。



同時多発テロ

21 世紀の世界史は、この事件によって始まったといっている。私はこのときイスタンブールにいましたが、世界史が大きく動き始めるのを感じました。



ビン=ラーデイン

アル=カーイダの指導者。元はアフガニスタンでソ連と戦っていた。長らく生死不明だったが、2011 年にアメリカによって殺害された。



パレスチナ自治政府のアッバース議長

PLO の中では穏健派であるファタハの指導者。アラファトの後継者である。イスラエルとの対立が続く中で、過激派のハマースが勢力を伸ばしている。

- 2003 年、イラクが大量破壊兵器を保持しているとして () を開始し、() 政権を崩壊させた。
→しかし宗派対立や「イスラム国」の台頭により、イラクは大混乱となった。
- 日本は、イラク復興支援特別措置法により、自衛隊のイラク派遣を行った。



ラムズフェルド国防長官

ブッシュがアフガニスタンやイラクを攻撃した背景には、ラムズフェルドのような、新保守主義者(ネオコン)と呼ばれる人たちの影響があったとされる。



捕えられたサダム=フセイン

フセインは、2003 年に逃亡先で捕えられた。獄中ではアメリカ兵とも積極的に交流し、イメージとは違って紳士的な人物であったとされている。2006 年に処刑された。



「イスラム国(ISIL)」の兵士

イラク戦争後の混乱から、イラクやシリアで急速に勢力を伸ばした。その残虐な統治とインターネットを活用した宣伝は、大きな衝撃を与えた。

2 現代のアメリカ合衆国

- ・超大国であり続けたアメリカは、21世紀に入ると戦争や財政危機によりその地位にかげりが生じ始めており、世界は（ ）へと向かっている。



オバマ

第44代大統領。演説は非常にうまい。しかし経済危機やテロの脅威に対してリーダーシップを発揮できなかった。

- ◆（ ）（民主党）（在任 2009～2017年）
 - ・アメリカ合衆国史上、初の黒人（アフリカ系）の大統領。
 - ・ブッシュ（子）政権の末期である（ ）年にリーマン=ショックと呼ばれる国際金融危機が起こり、その対応に苦慮した。
 - ・2009年、チェコのプラハで（ ）を行った。
 - ・2010年末にチュニジアで始まった「 」がイスラーム諸国に波及すると、リビアやシリアでは内戦が発生した。
- アメリカは軍事介入を行ったが、秩序の回復には至らなかった。



ヒラリー=クリントン

クリントン元大統領の妻で上院議員。民主党の指名争いでオバマに敗れた。オバマ政権では国務長官を務め、2016年の大統領選挙に再び立候補したが、トランプに敗れた。



リーマン=ショックを報じる新聞

2007年にサブプライムローン問題でアメリカのバブルが崩壊した。さらに投資銀行リーマン=ブラザーズが経営破綻したことをきっかけに、2008年には世界的な国際金融危機となった。

- ◆（ ）（共和党）（在任 2017年～2021年）
 - ・白人労働者などの支持で「アメリカ第一」を唱えて大統領となった。
 - 移民問題、人種問題、米中関係、コロナ対策などで混乱した。
 - ・パリ協定やTPP交渉から離脱するなど、国際秩序から距離を置く行動をとった。

- ◆（ ）（民主党）（在任 2021年～2025年）
 - ・トランプに勝利してアメリカ大統領となったが、ウクライナ戦争、パレスチナ問題などの国際問題、国内ではインフレなどの経済問題などに悩まされた。

- ◆トランプ（共和党）（在任 2025年～？年）
 - ・2024年の大統領選挙に勝利し、再び大統領に返り咲いた。



トランプ

不動産業で大富豪となり、テレビタレントして有名になった。2020年の選挙ではバイデンに敗れたが、2024年の再挑戦でハリスに勝利した。



アメリカ議会襲撃事件

2021年1月、選挙で敗れたトランプの支持者が、「選挙に不正があった」として議会を襲撃した。アメリカの民主主義を揺るがす大事件とされている。



バイデン

78歳という史上最高齢でのアメリカ大統領就任となった。2024年の選挙にも立候補を表明したが高齢を懸念され撤退した。

民主党	共和党
元々農村部と南部が基盤。徐々に北部大都市の非WASP系移民の支持を得、ローズヴェルト以後、労働者・黒人などにも支持される。	奴隷制反対派が結集した組織がもと。資本家やWASP、富裕者層の政党として長らく多数党だった。現在は保守的で南部が基盤。
大きな政府 (政府の社会・経済への介入大) ●企業への規制。弱者救済 ●社会福祉政策に熱心 ●保護貿易(国内産業の保護) ●対話的外交政策 ●道徳的問題には寛容	小さな政府 (政府の社会・経済への介入小) ●自由競争を推進。企業の利益を優先 ●環境問題や社会福祉には消極的 ●自由貿易 ●他国に積極的に介入する外交 ●銃規制や中絶・同性愛に反対
	